小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人 明生会	代表者	岡田　健一
事業所名	悠々庵 小規模多機能型居宅介護	管理者	松本　研

法人・事業所の特徴	介護が必要になっても住み慣れた地域での生活を継続することが出来るよう、ご家族や地域とのつながりを大切に考え、利用者の心身の状況や置かれている環境を踏まえて、「通い」・「訪問」・「泊り」のサービスを柔軟に組み合わせることにより、ご自宅での生活が継続できるようなじみのスタッフが支援します。また、ご家族への身体及び精神的負担の軽減を図るサービス提供にも努めております。

	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
出席者	人	人	4人	人	人	1人	人	2人	人	7人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・今年度立てた改善計画を職員一丸となり取り組み、利用者や地域から必要とされる事業所作りを目指す。	・事業所の自己評価に基づき、前回の改善計画に対する取り組み結果の説明を受けて、前回の取り組み内容が明示され、次回に向けた具体的な改善計画を新たに策定し、その取り組む姿勢が評価できる。 ・スタッフ個別評価は年間の反省ができ、新たな気持ちで取り組むことができる効果があると思います。 ・スタッフそれぞれが事業所のあり方について考える機会となり、取り組もうとしている姿勢が感じられた。	・「スタッフ個別評価」を閲覧させていただき、全職員の取組状況が一目で分かった。 ・自己評価で「よくできている」、「ほとんどできていない」と評価が大きく分かれる項目も見受けられたが、その中で改善に向けて取り組んでいることは評価できる。 ・処遇に直接結びつく内容では、「できている」と回答する方は多いが、運営推進会議や外部との関わりについては、全職員が意識するのが難しい。しかし、その中でも改善に向けて取り組んでいることは評価できる。	・前年度に引き続き、今年度立てた改善計画を職員一丸となり取り組み、利用者や地域に必要とされる事業所の創出を目指します。

B．事業所のしつらえ・環境	・事業所を見学する機会を作り、要望や助言等をいただき運営に反映させる。 ・何時でも誰が来られても、明るく居心地良い空間と思われるように、事業所内・外の整理整頓を意識する。	・事業所を見学した際、利用者と職員が楽しそうに過ごしている様子がうかがえました。また、壁には製作レクが飾られており、季節感があり、落ち着いた雰囲気を感じることができました。 ・運営推進会議にて、最近の出来事を写真で報告を受けた結果、事業所内の様子をイメージできた。	・事業所の周りには自然が多くあり、活動写真を通じて中庭でお花見や、日向ぼっこをされ、皆さんの笑顔が見られて楽しく過ごされている様子がうかがえました。 ・夜間帯以外、玄関の鍵は掛かっていないと説明がありました。	・運営推進会議の日程において、事業所を見学する機会を設け、委員からの要望や助言を運営に反映させる。 ・いつでも誰が来ても、明るく居心地の良い空間になるように、事業所内外の整理整頓を心がける。
C．事業所と地域のかかわり	・小規模多機能型居宅介護の役割を運営推進会議にて常に発信させていただき、介護の困ったことは何時でも相談していただける事業所作りを目指す。 ・地域の方が沢山集まる法人の秋祭りでは、悠々庵のPRも兼ねて参加する。	・悠々庵小規模多機能型居宅介護とはどのような事業所なのかを引き続き発信を続けて知名度を上げていけると良いのではないかと思います。 ・知りたいのは料金ではないかと思いますので、パンフレットを活用して周知する機会を増やしていければと思います。 ・秋祭りでは、地域の方が沢山来られていた印象で、事業所の知名度を上げるイベントでもあったと思います。 ・相談時、施設見学や役割などの説明を心掛けている。	・施設の案内看板が目に付き、周知されていると感じる。 ・季節ごとのイベントが実施されておられ、利用者と楽しまれている報告を受けている。今後、地域の行事やイベントへの参加企画を増やし実施できればと思います。 ・ケアマネ交流会に参加されており、他の事業所との連携を通じて、地域の不安を抱える方々の受け入れ体制を整えています。	・地域の方が沢山集まる法人の秋祭りでは、小規模多機能型居宅介護のPR活動を取り入れ参加し、地域の方に知らせるようにします。 ・小規模多機能型居宅介護の役割を運営推進会議で常に発信し、介護の困りごとはいつでも相談できる事業所づくりを目指す。

D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域の資源を活用し、感染対策を行いながら利用者と一緒に地域の行事やイベントに参加し、地域との交流の場を作る。	・法人では近隣に住まわれている方の買い物支援のために、買い物車両を運行しており、年々利用者が増えていると聞いています。 ・秋祭り開催時、地域の方が沢山参加されて交流ができたと感じた。	・運営推進会議で報告写真を拝見し、外出中の写真は利用者の皆さんの笑顔が多く見られました。 ・季節ごとのイベントを企画し、外出支援を実施できたら、利用者さんの笑顔がたくさん見られるのではないかと思います。	・季節ごとのイベントを企画し、外出支援を実施して地域との交流の場を作る。
E．運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議では要望や助言等を多くいただける議題作りを行い、出た意見は運営に反映させ、より良い施設作りを目指す。	・会議では、添付される資料が分かりやすく、説明が丁寧に実施されている。 ・常に意見を次回の会議までに改善しようとする努力がうかがえる。 ・施設の案内看板が草木で見えづらかったことを伝えたところ、周囲の草木が取り除かれ、案内看板が目立つように改善されたと感じました。	・ご近所の心配されている方に事業所が関わっていたことが、事例報告から分かった。 ・小規模多機能型居宅介護のパンフレットで説明を受け、分かりやすかったので、地域に心配な方がいたときにはパンフレットを使って説明しても良いと思った。 また、回覧板で廻して目に止まっていただくのも良いのかと思う。	・前年度に引き続き、運営推進会議では多くの要望や助言をいただける議題を作成し、出た意見を運営に反映させて、より良い施設作りを目指します。
F．事業所の防災・災害対策	・BCP 訓練は毎年実施されるので、運営委員の方へも参加していただける日程を計画し、一緒に協働して法人の防災力を知っていただく。	・法人としての備蓄品や BCP の訓練内容について説明があり良かった。 ・防災訓練には参加できませんでしたが、運営推進会議で実際の資料をもとに机上で説明を受け、興味深い内容で訓練を受けたように感じました。	・防災訓練は、実践的な訓練が防災力の強化になると考えます。 ・日時の都合が付けば、防災訓練の実践的な訓練に参加をしてみたいと思う。	・BCP 訓練の案内をし、運営委員の方へ参加していただける機会を作り、共に協力して法人の防災力を理解していただくことを目指します。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 11月 5日（16：00～16：30）
1．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	松本・横沢・佐藤(静)・鎌田・佐藤(弓)・菅原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4人	8人	1人	0人	13人

前回の改善計画

・利用時の不安を払拭するためにも、先ずは利用者の思いに出来る範囲で寄り添った支援を行うと共に、家族・介護者の不安が少しでも安心ができる利用状況を報告できるよう、本人だけでなく家族・介護者への負担軽減も配慮した関わり方を意識する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・介護サービスの利用を開始する前に、利用者やその家族の抱える困り事やニーズを丁寧に聞き取り、フェイスシートを用いて対応を統一している。
・利用者が早く慣れ、安心して過ごせるように、声かけや会話を通じてコミュニケーションを図っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	9	3	1	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	8	2	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	6	6	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	5	5	3	0	13

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者のケアプランを少しずつ理解し、寄り添い、これまでの生活スタイルを尊重している。
・訪問サービス時はドアノックと声掛け、訪問理由を伝え安心感を与え、思いやりをもって接している。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・急なサービス利用開始により、利用者の情報が不足し、状況把握が困難になるケースがありました。
・ミーティングでの話し合いが不足しており、情報伝達がタブレットを使った情報共有に偏っていました。
・送迎業務を行っておらず、外部からの利用者家族との関係作りに課題がある。
・利用者家族と話す機会が少なく、思いを充分に聞き出せなかった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・家族とのコミュニケーションを密にすることで、利用者の安心感にもつなげ、より質の高い介護を提供することを目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 11月 6日（16：00～16：30）
2．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	松本・中澤・佐藤(雪)・横沢・橋本・佐藤(静)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3 人	10 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画

・利用者様の「～したい」には様々な思いがあります。単発的な思いに寄り添うことも大切ですが、本人の当面の目標「～したい」を理解し、日々携わっていく事も意識する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・利用者の希望を聞き、おやつを提供することで食欲を促進し、おやつの時間をより楽しくする工夫をしている。
・利用者の要望を理解し、家族の意向を確認し、関係機関と連携して利用者のニーズに対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	3	7	3	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	8	2	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	3	8	2	0	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	2	4	6	1	13

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者の想いに耳を傾け、寄り添った支援を心掛けている。
・介護サービスの質を向上させるツールとして、経過記録とフェイスシートを用いて情報共有に努め、介護サービスの質の向上に心掛けている。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・支援が必要と理解していても、利用者の意思や状況、または現場の課題により、継続的な支援が難しい場合がある。
・実践した内容をミーティングで発言や、振り返りができていない。
・自立されておられる利用者の目標が、明確には把握できていなかった。
・利用者本人の気持ちや希望よりも、家族や職員の意向が優先されてしまう場面がある。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・利用者が「自立」または「一部介助」の状態にあるかどうかにかかわらず、どのように生活しているか、何に困っているかを把握し、満足度向上と質の高い介護サービスの実現を目指します。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 11月 8日（16：00～16：30）
19		
3．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	松本・中澤・横沢・奥山・松浦・佐藤(静)・佐藤(弓)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	9人	2人	0人	13人

前回の改善計画

・アセスメントシートに書かれていること以上の「以前の暮らし方」が少しでも多く知ることができるよう話題作りを意識し、本人の自宅での生活環境を理解する。
・自分から発信しないご利用者に寄り添う時間を意識して作り、声にならない想いを引き出せる支援を心掛け、引き出せた想いは情報共有し支援に繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

・自ら発信できる利用者が優先される傾向があり、発信が難しい利用者の思いが汲み取られにくい状況が生じている。
・利用者の情報を把握するために、フェイスシートを活用し、そこから得られた情報を職員間で共有しているが、以前の暮らしについて把握できている利用者と、そうでない利用者がいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	5	7	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	8	1	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	7	4	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	9	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	6	3	0	13

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者の状態変化に気づいた時は看護師へ報告し、記録を残し情報共有している。
・利用者の体調変化に細心の注意を払い、予期せぬ事態が発生した場合、迅速に対応するために、家族や医療機関への相談をしている。
・入浴介助では、利用者の羞恥心に配慮し、不安を取り除くよう心掛けており、利用者が自分でできることはしてもらうなど、自立を促すような援助も心掛けている。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・タブレットを用いた申し送りでの情報共有において、文面から主旨が誤解されやすい、情報がうまく伝わらないという点があった。また、多忙でスケジュールの調整が難しく、紙やタブレットでの情報共有が中心でミーティングをする機会がなかなか作れなかった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・情報共有を効率化するために、伝達方法の改善（要点をまとめる：長文よりも箇条書きや図解を活用）と対面でのコミュニケーション機会の創出を行います。
・自分から発信しないご利用者に寄り添う時間を意識的に設け、声にならない想いを引き出す支援を心掛けます。そして、引き出した想いは情報共有し支援に結びつけます。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 11月 10日（16：00～16：30）
4．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	松本・佐藤(雪)・橋本・鎌田・佐藤(弓)・菅原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	6人	5人	1人	13人

前回の改善計画

・内部研修にて地域資源の理解を深め、高齢化社会に沿った充実の介護環境が作れるよう有効活用し、地域での暮らしの支援を心掛ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

・地域の資源の理解不足や活用不足を感じた。
・さまざまな地域資源は思い浮かぶが、どのように活用してあげたら良いのか分からない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	9	1	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	8	2	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	7	3	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	3	6	3	13

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご家族や知人が面会に来られた時には、対話を重視し信頼関係を築き、利用者と家族間のコミュニケーションを円滑にするための配慮を心掛けている。
・事前に生活歴を確認し、利用者と関わっている。
・自宅等での様子を利用者やご家族より伺い、職員間で共有している。
・いわき市のホームページや運営推進会議、外部研修にて情報把握をしている。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・利用者と地域の関わりを知る機会がなく、地域資源を活用できていない。
・入職して日が浅く、全体的に把握ができていない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・地域資源の理解を深め、高齢化社会に沿った充実の介護環境が作れるよう有効活用し、地域での暮らしを支援することを心掛ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 11月 11日（16：00～16：30）
5．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	松本・佐藤(雪)・横沢・橋本・鎌田・菅原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	7人	5人	0人	13人

前回の改善計画

・事業所だけでなく地域の資源を使い自宅で安心した生活を続けるには何が必要か話し合い、情報を共有し支援する。
・「美味しものが食べたい」、「たまには外食したい」等のニーズに対応する計画を盛り込んだ支援を検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・外食支援ができなかったものの、おやつを持ってドライブへ出かける機会を作りニーズに対応し、手作りのおやつを作ることによって美味しくいただいている様子が見られた。
・利用者のニーズや必要に応じ、必要な買い物の支援をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	4	6	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	7	1	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	4	2	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	4	3	0	13

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者の体調変化に応じ、必要な利用内容を柔軟に提供している。
・急な状況変化に対応するため、民間の配食サービスなどの地域資源を活用した支援をおこなった。
・体調不良や緊急時に、医療機関へ繋げ柔軟な支援をしている。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域資源についてあまり理解ができていない。
・必要なことが分かっていても、実践に繋がらなかった。
・前回の改善計画に掲げていた外食支援は実行できなかった。
・地域資源の利用を考える前に、多くの場合、事業所のみで問題を解決してしまうことがあった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・事業所だけでなく地域の資源を使って、自宅で安心して生活を続けるために何が必要か話し合い、情報を共有し支援を行う。
・美味しいものが食べたい、たまには外食したいなどのニーズに対応する計画を盛り込んだ支援を検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 11月 15日（16：00～16：30）
6．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	松本・横沢・松浦・長谷川・佐藤(弓)・菅原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	4人	4人	4人	13人

前回の改善計画

・知り得た地域の活動やイベント情報を共有し、ご利用者のニーズに合わせ参加するようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・地域の各種機関、団体の活動やイベントへ参加する機会がなかった。
・地域の活動やイベントの情報収集が不足していたと感じた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	2	7	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	2	8	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	4	8	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	4	0	7	13

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・地域で開催されている会議へ参加している。
・地域包括支援センターと協働し、研修開催の準備に携わった。
・必要に応じて関係機関との会議を開催している。
・法人の秋祭りや子供食堂等で外部の方々が訪れ交流の場があった。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域の関係各所との会議等へは、立場上参加していない。
・地域の各種機関、団体の活動やイベントへ参加する機会がなかった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・知り得た地域の活動やイベント情報を共有し、ご利用者のニーズに合わせて参加するようにします。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 11月 16日（16：00～16：30）
7．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	松本・佐藤(雪)・横沢・長谷川・佐藤(静)・菅原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	4人	4人	3人	13人

前回の改善計画

・運営推進会議で得られた情報を利用し、地域との関わりを作っていく。
・苦情が出た際は協議し再発防止に努め、改善し運営に反映する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・運営推進会議へ参加したことがないので、会議の内容が分からない。
・意見や苦情があった際には、職員間で内容を共有し、改善策を検討することで再発防止策を講じることでより良いサービスの提供に努めました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3	3	5	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	6	2	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	3	5	2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	5	5	2	13

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・意見や苦情があった際は、内容をしっかり把握し職員間で内容を共有し、改善策を検討することで運営に反映している。
・運営推進会議で得られた意見や助言を運営に反映することで、より質の高いサービス提供を目指した。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・運営推進会議へ参加したことがないので、会議の内容が分からない。
・地域の方からの意見や苦情は分からない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・運営推進会議で様々な立場の人々から事業所の課題や改善点に関する貴重な意見が得られた情報を利用し、これらを活かすことで、利用者にとってより良いサービスを提供する。
・苦情が出た際には、協議を行い再発防止に努め、改善を運営に反映させます。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 17 日（16：00～16：30）
8．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	松本・中澤・佐藤(雪)・横沢・橋本・佐藤(静)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	7 人	1 人	3 人	13 人

前回の改善計画

・外部研修、内部研修への積極的に参加し、スキルアップを目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果

・スキルアップのため、資格所得に挑戦している。
・自ら進んで職場外の研修へ参加し、スキルアップを目指している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	6	1	3	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5	2	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	11	13
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	4	5	2	2	13

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・事故が発生した場合、または危険なリスクがある状況の場合、報告書が作成され、分析に基づいた改善策が職員に周知され、リスクの見過ごしを防ぎ、さらなる事故を未然に防ぐようよう努めている。
・AED(自動体外式除細動器)の研修に参加でき使い方だけでなく、一次救命処置についても学ぶことができた。
・職場内研修の BCP へ参加することができ、職場の事業継続計画に対する理解を深める良い機会でした。
・いわき市のケアマネ研修や地域研修へ参加できた。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・研修へ参加する機会がなかった。
・地域連絡会へ参加する機会がなかった。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・職場内研修の BCP に参加し、BCP の重要性や具体的な策定・運用方法を学び、緊急時に適切な行動が取れるように、実際に行動できる環境を整え、BCP を社内に定着させることを目指します。
・外部研修、内部研修への積極的に参加し、スキルアップを目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 11月 18日（16：00～16：30）
9．人権・プライバシー	メンバー	松本・中澤・長谷川・佐藤（静）・鎌田・佐藤（弓）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	8人	5人	0人	0人	13人

前回の改善計画
・虐待防止、身体拘束適正化委員会の指導のもと引き続き徹底する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・意識をしっかり持っており、身体拘束や虐待はしていません。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11	2	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	8	5	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	5	1	7	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	6	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体介護を行う際には、利用者のプライバシーを尊重し、安心できる介護を心掛けています。 ・現在、成年後見制度を利用されている方はいないが、必要性があれば制度利用へつなげる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・現在、成年後見制度を活用している利用者がいない。 ・何気ない発言の中でプライバシーについて口に出してしまったことがあった。 ・「ちょっと待っていてください。」など利用者の行動を制限してしまうことがありました。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・虐待防止、身体拘束適正化委員会の指導のもと引き続き徹底する。	